

瀬戸内の多島美

瀬戸内海は日本の主要な島である本州、四国、九州に挟まれた水域です。英語では単に「Inland Sea（内海）」と呼ばれることも多く、古代から交易、旅行、戦争のための重要な水路で、およそ 3000 の島々が点在しています。一部の島には人が住んでいますが、より多くの島が無人島です。オリーブ園で有名な、瀬戸内海で 2 番目に大きな小豆島や、瀬戸内国際芸術祭の主要会場の一つになっている「アートの島」である直島など、有名な観光地もあります。小豆島にも直島にも、またもっと小さいいくつかの島にも、高松からフェリーが運航しています。

青々とした森、砂浜、おおむね穏やかな海といった瀬戸内海やその群島の美は、香川県沿岸の展望スポットから味わうことができます。そのような展望スポットには、高松市街の上にそびえる溶岩台地の屋島、高松と坂出の境にある五色台、西部の三豊市に位置する荘内半島などがあります。自動車か列車で旅行する方は、四国と本州を結ぶ全長 13 キロの瀬戸大橋を渡る際に、島々を一つ一つ特定してみる楽しみも味わうことができます。